FORZA駒澤 選手紹介 PART7

赤尾直和（MF・4年）

今回の選手紹介は赤尾直和選手です。小・中学校ではチャラチャラ系（？）のクラブに在籍していたことや、高校では、サッカー部に入ってから人間的に成長したというお話、大学では現在に至るまでデビューが遅れた秘話など色々、お話していただきました。

小・中学校はチャラチャラ系です

サッカーを始めたきっかけは、小学校4年生のときに友達につられて。入ったのは小さなクラブでした。チームは弱かったので、「楽しくやろう」っていうのが前提みたいなところでした。サッカーっていうよりも「遊びで」っていう感じでしたね。チャラチャラやる、みたいな（笑）。チャラチャラクラブって言われてたんですよ！よくわかんないですけど。練習は週3回ぐらいでした。内容は普通でした。ウォーミングアップして基礎練っていう流れでした。多分、他のクラブとやっていることは変わらないと思いますよ。コーチは普通の人でしたね。チームメイトは同じ小学校ばっかりじゃなくて近所の区域からも来ている人が多かったですけど、サッカー以外でかかわっている方が多かったです。サッカーのない日はみんなで遊んでましたから。今でも中のいい友達は少しはいますよ！そのときのポジションはMFで出てたんですけど、印象に残っている試合はないですね。大会に出場しても1回戦ぐらいで、すぐに負けちゃったので（苦笑）。だから母親も見に来ることは少なかったですね。そのときの自分のプレーは「チャラチャラ」みたいな感じでした。よくわかんないですけど（笑）。サッカー以外では、小学校に入る前には大阪にいたんですけど、その頃から水泳はやってました。サッカーを始めてからはすぐにやめちゃいましたけどね。学校の勉強は普通にやってたと思います。行事とかも特に思い出はないです。目立つのは嫌いではないですけど、あまり積極的には参加してなかったですね。結構面倒くさい系です（笑）。

中学でも同じところでサッカーやってました。中学から入ってきた人も中にはいましたね。区域も少しは広がりましたから。練習も特に変わらなかったです。むしろ、サッカーよりも遊んでるほうが全然多かったですね。普通にサッカーをやって遊びに行くって感じでしたし…。場所は色々です（笑）。あとは普通に生活してました。

最初はサッカーをやる気はなかったです

高校は駒大高です。入ろうと思ったのは、塾に行ってて、そこの先生に「チャレンジしてみれば」って言われたのがきっかけです。最初はサッカーをやろうとは思わなかったんですよ。入学してから2ヶ月ぐらい何もやってなかったら、母親に「サッカーでもやれば」って言われて、サッカー部に入りました。やっぱり駒高は、帝京とかに比べたらサッカーが強くないじゃないですか。上下関係は中学のときよりも厳しくなりましたね。あと身なりにはうるさくなりましたね。髪型とか何でもかんでも。だから最初はやる気がなかったです。駒高はみんな仲が良かったですよ。サッカー部に入ってからは人間的に成長しましたね。何かはわからないですけど…（笑）。物事を客観的に見られるようになったんじゃないですか？監督はサッカーに関してはすごかったですね。武南で結構やってたみたいですから。サッカー的には大事に繋ごうっていう風に考えてる人でしたね。大学の練習と隣でやっているので多少影響はあったと思いますよ。見習えるところは見習うみたいな感じで。やっぱり、見ていて深井さん（正樹・現鹿島）はすごかったですね。高校ではじめて出た試合も覚えてないですね。2年のときから出てる記憶はあるんですけど。国士舘とやった試合はちょっと覚えてますね。すごい競ってたんですけど、ロスタイムに入れられて負けました。駒大とよく練習試合をやったんですけど、やっぱり、強くて速かったですから公式戦よりも得るものはあったと思います。

私生活のほうも仏教の学校なだけにそこそこ厳しかったですね。授業とかは寝ててもよかったですけど（笑）。自分は真面目にやってました！尊敬する人は道元大師です。駒高は2年のときにお寺に行って座禅を組んだり、寺の掃除をさせられたり、軽い修行みたいなことをするんですけど、かなり面倒くさかったですね。修学旅行は別にあって沖縄に行きました。担任が柔道部の顧問だったんですけど、その人にビンタでも食らわしとけばよかったなって思いましたけど（笑）。

大学では失望のほうが多いです

大学では、サッカー部に入ってからの印象は普通でしたね。でも、高校と比べたらプレーのスピードは全然違いますね。監督はサッカーが詳しいなって感じでしたね。人間的にはすごい人だと思います。サッカー部に入って一番すごかったのは沼守（宏樹）君の関西弁でしたね（笑）。なに言ってるか、よくわかんなかったですし。小さい頃は大阪にいたんですけど、もう関東に慣れちゃったんで。

大学ではサッカーで失望した部分が多かったですね。1年のときのヨーロッパ合宿で肩を脱臼したんですけど、それで少しやる気失くしました。でも、そこから手術をして今に至ってます。手術をするまで時間が空いてしまったので何度も脱臼して、やる気が失くなりました。「だから、お前はデビューが遅れた」ってみんなに言われます（笑）。あと、もう手術はしたくないです。今年のヨーロッパ合宿でも肩は気にしてました。向こうのサッカーはやっぱりデカかったですし、相手は金をもらってますからね。うちらはアマチュアなんで。むしろアマちゃん（笑）。現地でセリエAの試合を見に行ったんですけど、雰囲気はすごかったですね。でも、ああいうところでやりたいとは思いませんでした。

楽しく、ハッピーに！

大学で初めて出たのは今年の明大戦です。スタメンって言われたのは試合の前日だったのでとりあえず「頑張ろうかな」って言う気分になりました。出てみて、「こんな感じなのかな」って思いました。

今、好きな選手は（宮崎）大志郎君ですね！走れるし、うまいし、戦えるからです！他にはいないですね。

4年生になってからはまったく変わってないですね。サッカーは「楽しく、ハッピーに！」って感じなんで。でも、単位は気にするようになりました（笑）。今後は一生懸命やりたいです。サッカーは続けていくかはわからないですね！「生きてればいいじゃん！」みたいな感じですから。

PROFILE

●あかお　なおかず／1984年3月21日生まれ。171cm65kg。C・P・S・C（コミュニティープラザ・サッカークラブ）―駒澤大学高。家族構成は父、下半身安定型の母、スタイルのいい妹、関西ジャニーズ系の兄。好きな言葉・小椋はガッファイ（小椋の左脇には気をつけろ）

発行人　山本麻紗子
スタッフ　野澤俊介　越智千絵子　伊藤優香　遠藤雅之　川崎篤彦　深松美里　新井繭子　遠藤さくら　大川菜都美　香取真人　久保田円香　河野和哉　斉藤卓也　境野文子　瀬戸邦昭　永田義博　林　雄大　原田麻里　吉満正弘

～お知らせ～

FORZA駒澤BOXを駒澤大学駒沢校舎内の食堂にあるアイスクリーム売り場、学生部に設置しています。毎週金曜日に置いているので、ご自由にお持ちください。

FORZA駒澤は毎週金曜に発行！お便り、感想などはこちらまで
〒154―8525　東京都世田谷区駒沢1―23―1
駒澤大学マスコミ研究所内「駒大スポーツ・サッカー班」Eメール
forzakomazawa@hotmail.com
TELFAX 03（3418）9556　発行人　山本麻紗子

鈴木亮平から見た赤尾直和

赤尾はおもしろいです。でもやる時はやる奴です。赤尾はプロになる素質があると思います。最後の1年、死ぬ気で頑張ろうぜ！！

駒澤大学サッカー部・練習時間

＜場所＞駒大グラウンド

●Aチーム・15時45分～
　Bチーム・17時15分～
　Cチーム・18時45分～

練習場アクセス

東急田園都市線・大井町線「二子玉川」駅から砧本村行きバス、終点「砧本村」下車。バス停前が二子玉川キャンパス